

第3回全日本空手道体重別選手権大会東北地区予選会実施要項

(公財)全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 第3回全日本空手道体重別選手権大会東北地区予選会
2 主催 (公財)全日本空手道連盟東北地区協議会
3 主管 秋田県空手道連盟・東北高等学校体育連盟空手道専門部
4 後援 (公財)全日本空手道連盟
5 場所 秋田県立武道館 大道場
〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄 2-2
TEL 018-862-6651 FAX 018-896-6433
6 大会日程 令和6年4月28日(日) 8:00~17:00

7:00	開場
8:00~8:50	選手計量(全選手)
8:20	審判・監督会議
9:00	開会式 競技開始
12:00~12:50	昼食
12:50	競技開始
16:00	競技終了
16:15~17:00	全日本体重別選手権参加申込手続き

7 種目 (1)男子・女子組手個人戦

(2)体重別組手競技

①女子：-50kg、-55kg、-61kg、-68kg、+68kg

②男子：-60kg、-67kg、-75kg、-84kg、+84kg

※階級については以下のように階級分けをする。

女子個人組手 -50kg級(50.0kg未満)

-55kg級(50.0kg以上55.0kg未満)

-61kg級(55.0kg以上61.0kg未満)

-68kg級(61.0kg以上68.0kg未満)

+68kg級(68.0kg以上)

男子個人組手 -60kg級(60.0kg未満)

-67kg級(60.0kg以上67.0kg未満)

-75kg級(67.0kg以上75.0kg未満)

-84kg級(75.0kg以上84.0kg未満)

+84kg級(84.0kg以上)

8 出場人員 (1)出場選手

①選手は令和6年度内に満16歳以上の誕生日を迎える者であること。

②各階級上位2名を第3回全日本空手道体重別選手権大会への東北地区代表選手とする。

③各県からの参加人数の制限はしない。

(2)監督は各団体1名とする。

9 出場資格 (1)選手及び監督は(公財)全日本空手道連盟会員であること。

(2)選手は全空連公認段位取得者であること。(高2以上で少年段位は不可)

(3)監督は予め届け出があった者とする(20歳以上であること。19歳以下は認めない)。また、監督は腕に監督の腕章を装着すること。会員証の提示を求める場合もある。

- 10 競技規定 (1) 競技は(公財)全日本空手道連盟(以下、「全空連」と略記する)制定の《空手競技規定》により実施する。また、競技の実施と運行の詳細は東北地区協議会審判規定・審判会議申し合わせ事項により当日審判長から通告する。
- (2) 階級ごとのトーナメント方式とする。
- (3) 競技時間は2分フルタイムとする。但し、準決勝・決勝は3分フルタイムとする。参加人数と競技日程の関係で変更せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。
- (3) 勝敗は競技時間内に8ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技終了時に同点で「先取」がなく得点ポイントも同じ場合は「判定」をとって勝敗を決する。
- (4) 安全具について
- ① 男子組手競技に使用する安全具
- ア. 拳サポーター(全空連検定の従来品 赤色・青色)
- イ. マウスピース
- ウ. セーフティカップ
- エ. ボディプロテクター(WKF又は全空連検定のもの)
- オ. インステップガード・シンガード(WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)
- ② 女子組手競技に使用する安全具
- ア. 拳サポーター(全空連検定の従来品 赤色・青色)
- イ. マウスピース
- ウ. チェストガード(任意とする)
- エ. ボディプロテクター(WKF又は全空連検定のもの)
- オ. インステップガード・シンガード(WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)
- ④ その他
- ア. 安全具は選手各自が用意すること(赤帯・青帯含む)
- * 拳サポーターについて: 本戦出場者に於いてはWKF認定の新型が必須ですが東北地区予選会は多くの高校生の出場が見込める為参加者全員従来品とします。
- (5) 服装
- ① 選手
- ア. 選手の空手衣は、(公財)全日本空手道連盟空手競技規定に定めたものとする。
- イ. 青・赤帯は各自全空連検定済(マーク入り)のものを用意すること。
- ② 審判員
- ア. 全空連審判員規定の服装による。
- ③ 監督
- ア. 全空連制定のブレザー、ネクタイ、ズボン、シューズを着用すること。
- イ. アリーナ内ではウエストポーチやリュック類は身に着けないこと。
- ウ. 監督は、いかなる場合もコート内に入ることはできない。
- 11 表彰 (1) 優勝者、準優勝者、第3位(2名)まで賞状・メダルを授与する。
- (2) 入賞者の表彰は競技の終了した種目から順次行う。
- (3) 表彰に際して受領しなかった場合、入賞者に対する賞状等の送付は行わない。
- 12 審判員 (1) 大会審判団は「全空連」公認審判をもって次により編成する。また、推薦審判員は65歳以下(定年制)とする。各県3~4名推薦
- (2) 3月24日(金)参加申込締め切り後、地区協議会審判部委員長より主管県を除く各県へ公認全国・地区組手審判員の派遣人数を依頼しますので各県連は速やかに推薦し審判部委員長へ報告すること。

- (3) 主管県は(2)に記載する人数にかかわらず、大会委員長と協議し、その指示により運営上必要な人数を推薦する。
- (4) 大会委員長は各県から推薦され適当と認められた審判員をもって大会審判員を委嘱する。
- 13 安全対策 (1) 選手は本大会1週間以内に各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
- (2) 参加選手は各自で又は団体でスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。大会実行委員会では傷害保険等への一括加入は行わない。
- (3) 出場選手が競技中負傷した場合は主催者側において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了承ください。
- (4) 選手及び監督は健康保険証を携帯すること。
- (5) 選手の過度な体重調整(減量・増量)が見受けられた場合は、大会ドクターの判断により大会出場を取り消す場合がある。
- 14 組合抽選 実行委員会において厳正に行う。
- 15 出場申込 (1) 出場費は1人1種目5,000円を納入しなければならない。
- (2) 別途定める出場申込書を県連事務局に提出し、県連事務局が取りまとめ大会事務局に一括して申し込むこと。申込書の送付先及び出場費送金先(口座)は下記のとおり。(個人での申込みは受け付けません。)

- ◆ 出場費は必ず県連事務局から一括して振り込むこと。
- ◆ 参加申し込み後の返金は致しません。

16 申込期限

17 宿泊・弁当等 各自対応願います。

18 その他

- (1) 表彰式終了後東北地区代表選手は第2回全日本空手道体重別選手権大会の申し込み手続きを行うため、主催者で用意するエントリー用紙に全空連会員番号及び有効期限、段位、が記載できるようにしておくこと。また、顔写真を各自準備すること。(サイズは後日連絡する)
- ※顔写真については以下の要件を満たすものとする。
- ① 空手衣を着用して撮影すること
 - ② 無地の背景で正面から撮影すること
 - ③ カラー写真であること
 - ④ 写真の70~80%が顔で占めること。自然な表情で口は閉じること。
 - ⑤ 髪は目にかからないようにすること。
 - ⑥ デジタル加工は一切加えないこと。
- (2) 上記申し込み手続きにおいて、高校生の場合は全国大会出場に係る誓約・出場承諾の手続きを行います。(詳細は後日連絡する)
- (3) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。
- (4) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。
- (5) 大会日程については参加者数が確定次第、再度通達する。
- (6) 全国大会への参加費及び旅費・交通費は各県で対応することとする。